

## 小学生柔道選手を対象とした研究

藤田 英二

鹿屋体育大学スポーツ生命科学系

例年スポーツトレーニング教育研究センター（以下トレセン）の重点研究プロジェクトである「アスリート・ドッグシステム」に関する研究の一環として、福岡県柔道協会の協力のもと小学生柔道選手の体力測定を実施しています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、福岡県柔道協会が行っている小学生柔道選手の強化育成事業が軒並み中止となり、体力測定も行えませんでした。しかし、今年度は第5波が収束してきたフェーズでタイミング良く実施することができました。事前の体調管理表の提出、当日の体調管理と検温などの徹底、器具の消毒、施設内での換気やソーシャルディスタンスの確保など福岡県柔道協会ならびにグローバルアリーナの関係者のご尽力によるものでした。あらためて感謝申し上げます。

小学生柔道選手体力測定の対象としてきた福岡柔道クラブは、福岡県柔道協会が福岡県出身のオリンピックメダリストの多数育成を目的として、平成14年度に設立しました。福岡柔道クラブでは小学生5年生から中学生までを対象に強化指定選手を選考し、強化合宿の開催などを通じて強化育成を行っています。小学生の部は、福岡県で選手登録している小学5・6年生の500余名の中から、福岡県少年柔道選手権大会での上位入賞者と、福岡県柔道協会の競技者育成委員および各道場の指導者から推薦された選手をあわせた80名余りが毎年強化指定選手として選考され、それにプラスして強化育成事業に自費での参加を希望する育成選手をあわせて運営されています。ただし、今年度は大幅に人数を絞り、強化選手は37名のための指定でした。

この強化指定事業からの出身者は全国高校選手権、金鷲旗大会、インターハイ、皇后杯全日本女子柔道選手権大会などの国内大会のみならず、世界

ジュニア選手権、世界柔道選手権大会などの国際大会においても輝かしい成績を残す選手も出てきており、ついには2021年に開催された東京オリンピックで金メダリストを輩出することができました。また、今回のパリオリンピック代表および金メダル獲得が十分狙える選手も出てきています。このような選手を対象にしてきた長年の測定データからは興味深い知見も見えてきており、論文としてまとめ、武道学研究に投稿中です。

今後も福岡県柔道協会と協力して、柔道選手のタレント発掘、発育発達に応じた一貫始動プログラムの確立、およびスポーツ障害予防などに役立つ研究を続けていきたいと思っています。

測定日：2021年11月6日

区分	学年	性別	階級	選手名	所属名	年齢	身長 (cm)	体重 (kg)	体脂肪率 (%)
強化	5年	男子	45kg級			11.1	143.6	40.2	22.1

	筋力			敏捷性	瞬発力		持久力	
	握力	体重あたりの膝伸張力	上体起こし	反復横跳び	垂直跳び	30m走	リバウンドジャンプ回数	最大酸素摂取量
	Kg	Nm/kg	回	回	cm	秒	m/sec	ml/kg/min
測定値	20.8	2.70	36	56	32.6	4.98	1.382	45.1
5段階評価	2	3	5	4	4	4	3	4

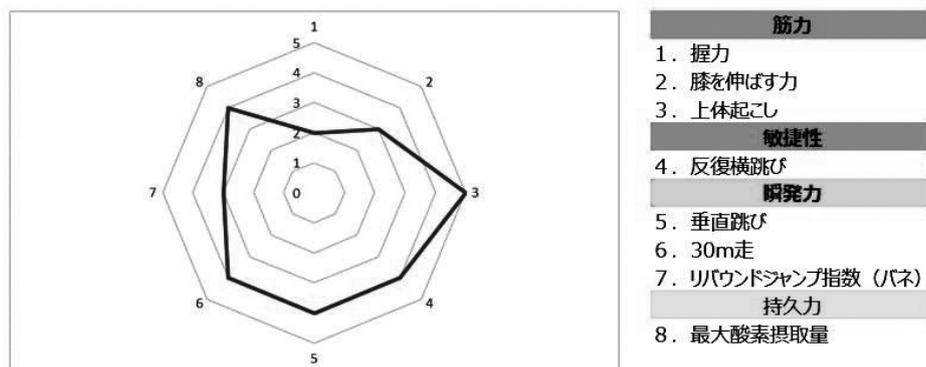


図. フィードバックシートの一例

5段階評価はいままでの強化選手の平均値と標準偏差をもとに算出している。

評価5（非常に優れている）は平均値プラス1.5SD以上，評価4（優れる）は平均値プラス0.5SD以上から平均値プラス1.5SD未満，評価3（普通）は平均値マイナス0.5SD以上から平均値プラス0.5SD未満，評価2（劣る）は平均値マイナス1.5SD以上からマイナス0.5SD未満，評価1（非常に劣る）は平均値マイナス1.5SD未満としている（山本，2007）。